

つ き が た 報 告

No. 102

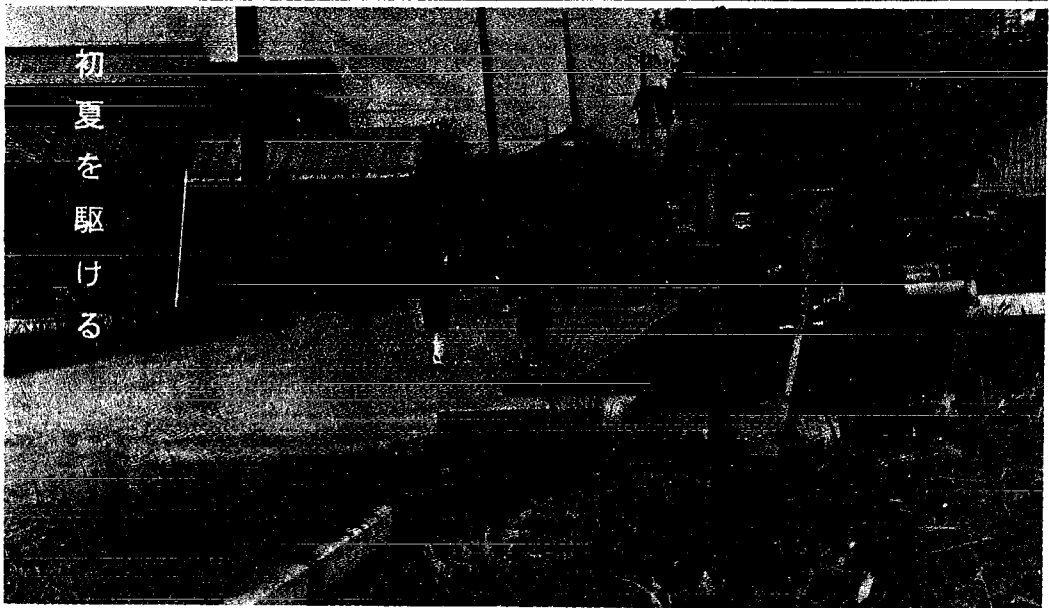
昭和 53 年 5 月 10 日 発行

発行 / 新潟県月潟村役場

毎月 10 日 発行 1 部 10 円

(昭和52年 7 月22日 第三種郵便物認可)

人口動態	4 月 30 日 現在		4 月 中 の 異 動	
	世帯数 801	人口総数 3,865	出生 4	転入 17
	(男 1,893	女 1,972)	死亡 2	転出 18



初夏を駆ける

歯痛の応急措置

歯が痛み出すことは、虫歯を治療しないでおくことが原因です。歯医者で治療することが大切ですが、急に痛み出したときの家庭での応急手当の方法は

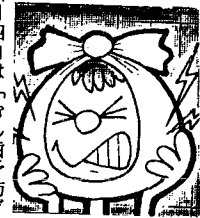
△痛い部分をきれいに▽つま楊枝のさきにおキシドールをつけてむし歯の穴のかすをとり、ぬるま湯に食塩を少し入れて、痛みのある部分によくいきわたるよううがいをします。

△痛みがひどいときは▽口の中を清潔にして、大人の人であれば小さな綿球に

六月四日は「むし歯予防デー」です。六月の六を「む」、四日の四を「し」と発言する語呂に合せたユーモラスな着想ですが、これはもと日本歯科医師会が昭和三年に提唱した古くからの行事で、戦時中、一時中断しましたが、戦後復活し、昭和三十年からはさらに拡大して、この四日からの一週間を歯の衛生週間として現在に至っています。

統計によりますと、日本人の八五%がむし歯か歯槽膿漏だということです。

歯のいい悪いは子どもの時から



六月四日はムシ歯予防デー
悪い歯は早目に治療を

の心がけにもよります。厚生省では、三才児の一斉検診の必要性を強く訴えています。これは三才ぐらいの年ごろの子どもの時期に歯並びがほぼ完成するからです。ところが、四才児の九〇%がすでにむし歯におかされているといわれています。

みそ、歯なんか、どうせ生れ変わるんだと、歯の痛みを訴えるまで放っておくとあとがたいへんです。丈夫な永久歯を育てるためには、乳歯のうちに治療しておくことが大切なのです。

歯は健康の「シンボル」ですがこの週間(二月四日から十日)では歯の衛生に関する正しい知識の吸収に努めると共に、歯科疾患の早期発見、早期治療、予防措置の励行(歯みがきなど)に関心を寄せ、歯や口の健康を通じて身体の健康に努めたいものです。

歯が痛み出すことは、虫歯を治療しないでおくことが原因です。歯医者で治療することが大切ですが、急に痛み出したときの家庭での応急手当の方法は

△痛い部分をきれいに▽つま楊枝のさきにおキシドールをつけてむし歯の穴のかすをとり、ぬるま湯に食塩を少し入れて、痛みのある部分によくいきわたるよううがいをします。

△痛みがひどいときは▽口の中を清潔にして、大人の人であれば小さな綿球に

ヨードチンキをひたし、痛い部分に押し込みます。このときヨードチンキが舌や歯ぐきにふれないよう注意して下さい。

むし歯が大きき、痛みがひどいときは、小さな綿球をぬらしてアスピリンの錠剤を粉にしたものをつけて、むし歯の穴に押し込むようにするとよいでしょう。

なお、胃腸薬のクレオソートも痛いところに押し込むこともよいでしょう。これは子供にも安全で殺菌作用と痛みをとる作用があつて効果的です。